

広

報

お知らせ版

薩摩川内

広報さつませんだい

2019

No.353

サムライ文化を伝えたい



4月27日(土)、入来町の旧増田家住宅で「入来でサムライ文化に出会う！」と題し、薩摩琵琶の弹奏や東郷示現流の演武、あくまき作り体験などが行われ、約200人が参加しました。

入来麓地区には、かつて薩摩琵琶の工房や東郷示現流の稽古場があったと伝えられており、参加者はこの地で侍たちによって受け継がれてきた文化を目の当たりにし、感動の声を上げていました。

里中学校が宿泊学習を実施



5月15日(水)、16日(木)の2日間、上甕町で里中学校1年生8人の宿泊学習が行われました。

初日は、観光船かのこによる断崖クルーズとウミネコの餌付け体験などを行い、2日目は、上甕県民自然レクリエーション村で上甕中学校の生徒と魚さばき体験などで交流を深めるとともに、地域の魅力を再認識しました。

防災点検を実施



5月20日(月)、出水期や台風シーズンを前に、市や県、警察などの防災関係機関による防災点検を実施しました。

今年度は、港町と久見崎町の川内川高潮対策事業や樋脇町市比野の砂防事業の該当箇所などを点検し、災害発生に備え、防災関係機関で情報共有、事前対策の確認などを行いました。

薩摩川内の神話を知ってるかい？
「神亀山ウォーキング」



4月6日(土)、「神亀山ウォーキング」が開催され、市内外の約70人が参加しました。

参加者は、市公認観光ガイドの説明を聞きながら、ニギノミコトを祭る新田神社の普段は見るできない拜殿を見学。その後、陵墓である可愛山陵、中陵、端陵を巡り、本市に残る神話を学びました。

天辰地区から
新しいまちづくりが始まります



5月10日(金)、「薩摩川内市天辰地区スマートモデル街区プロジェクト」の安全祈願祭が行われました。

21世紀の低炭素社会の実現に向け、ゼロエネルギーハウスなど再生可能エネルギーを活用した新しいまちを整備します。